

学科学年	D2	科目分類	工学技術セミナー Engineering Technology	講義 必修	通年 2単位	学習教育目標 1	担当	電子制御工学科全教員 All staff
概要	工学技術者として学習する動機付けを行うことを本授業の目的とする。前期は、主として本科教員がそれぞれの専門や担当科目に関連する講義を行う。併せてものづくりの考え方、アイデアの着想方法について講義する。後期は技術者倫理を学ぶとともに、地元企業の技術者等を講師に招き、企業現場でのものづくりの実際や技術者になるための心構えなどの話を交えながら、ものづくりの文化と工学について見識を広める。							
科目目標 (到達目標)	1. 技術者になることの自覚を深め、数学、物理学や専門授業についての学習意欲を高めることができる。 2. 教員や講師の話を集中して聞き、メモを取り講義内容を要約することができる。 3. 技術者倫理について、理解することができる。							
教科書 器材等	なし							
評価の基準と 方法	課題レポートを50%、講義要約、感想文を50%として評価する。 60%以上を合格とする。							
関連科目	ロボット工学演習、産業財産権概論							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回		授業ガイダンス (青木)						
第 2回		医療用ロボット研究の現状と課題 (青木)						
第 3回		技術の創造と設計 (青木)						
第 4回		外部講師によるキャリア授業 (青木)						
第 5回		電気自動車とモータ制御 (大沼)						
第 6回		現象の数理モデル (江上)						
第 7回		数値流体力学～理論・実験に続く第3の科学を目指して～ (出川)						
第 8回		振動工学の世界 (鄭)						
第 9回		色々なロボットについて (川上)						
第 10回		電子材料の世界 (遠山)						
第 11回		流れ星と通信 (長澤)						
第 12回		東海・倒壊ゼロ (舟田)						
第 13回		技術の創造と設計 (青木)						
第 14回		着想を生む (青木)						
第 15回	×	習得度調査 (青木)						
第 16回		工学と数学						
第 17回		工学と数学						
第 18回		工学と物理学						
第 19回		工学と物理学						
第 20回		組込みシステムの世界 (牛丸)						
第 21回		流れの本質を探る～実験流体力学における計測技術～ (大庭)						
第 22回		技術者倫理						
第 23回		技術者倫理						
第 24回		技術者倫理						
第 25回		技術者倫理						
第 26回		ものづくりの文化と工学						
第 27回		ものづくりの文化と工学						
第 28回		ものづくりの文化と工学						
第 29回		ものづくりの文化と工学						
第 30回		ものづくりの文化と工学						
オフィス アワー	前期：授業実施の週、16:30～18:00。各回の担当教員の研究室で行う。							
授業アンケート への対応	授業の進行方法について、整理して理解し易いように工夫する。							
備考								
更新履歴	20110327 新規							